



## 「夕焼け」と「ジョブ・シャドウ」

今日は進路部の出張で、水道橋にある都研修センターというところに出かけたのだが、研修が5時過ぎに終わって外に出たら、JR水道橋駅を前景にした夕暮れの空が、もう本当に美しかった♪ 台風のせいもあってか雲が多く、それが夕焼けのオレンジ色と紫色に映えて、何ともいえない色に染まっていたのである。う～ん、ウツトリ!

君たちは空を見上げることがあるのだろうか? もし無いなら、これから秋を迎え、空気が澄んで本当に夕焼けが美しくなる。部活で延長の人は、なかなかそんな余裕がないかも知れないが、ぜひ、5時を過ぎたら空を見上げてみてほしい。自然の素晴らしさ、そして、生きていることの素晴らしさを感じ取ることができるだろう。

\*

ところで今日の出張は、「キャリア教育」に関する研修であった。キャリア教育というのは、将来の日本を担うであろう君たちに、勤労観や職業観を育み、自立できる能力をつけることを目的とする教育のことで、まあ簡単に言えば、職業選択なども含めた進路指導のことだと考えてよい。ところで、日比谷の進路指導では、何がこれに相当すると思う?

もちろん「星陵セミナー」である。他の学校では、日比谷ほどの人材に恵まれていないから、外部の団体に依頼して、講師となる社会人をコーディネートしてもらったりする必要があるというわけだ。

だから、日比谷に関して言えば、特に参考

となる事例があったわけではないのだが、それでも、面白い話があった。

それは、毎年夏休みに行われている「ジョブ・シャドウ」という催しで、日比谷では2年生向けに進路部からアナウンスがある。興味をもった人は、来年注目しているとイイと思うが、今年は二人の2年生が参加した。

で、どんなことをするのかというと、ある社会人(今年は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券マン・証券ウーマン)に、その人の影(シャドウ)になったように、半日間ついて回って、その人の仕事の様子を見て回るといふものである。

え、それだけ…?と思うかも知れないが、第一線で活躍する社会人に半日つきっきりで仕事の様子を観察すると、思ってもみなかった発見があるのだそうだ。そして、自分が身につけなければならぬスキルやマナーについて、具体的にイメージ出来るようになるというのである。なかなか面白そうでしょ?

君たちが接する「社会人」というのは、多くの場合、保護者と学校の先生、そして、通学途中の交通機関で出会う疲れ切った人たちくらいなのだそうだから、一流会社でバリバリ働く「社会人」を目の前にすることは、ある意味新鮮な体験になって、職業観や進路選択に影響を与えるのだそうだ。なるほど…。

でも、私(学校の先生)や君たちの保護者の皆さんも、きっともバリバリ働いているんとは思うんだけど、あまりに身近すぎて、「新鮮な」感動を呼ばないだろうね(笑)。